

2024年2月5日
商工中金

太陽光発電設備の販売・運営を通じ、再生可能エネルギーの普及に取り組む 日本エネルギーホールディングス株式会社様を ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（岡山支店）は、日本エネルギーホールディングス株式会社様（本社：岡山県岡山市、代表者：藤木 慎太郎様）に対し、サステナブル経営に必要な資金1億5,000万円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、太陽光発電システム的设计・施工・販売及び運営を手掛けています。自社開発した太陽光発電システム「ENEHOL」も販売、また、中国地方を中心に全国45か所で発電設備を運営しています。

今回同社は、太陽光発電システムの普及や働きやすい職場環境の整備等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【日本エネルギーホールディングス株式会社様の概要】

所在地	岡山県岡山市北区下中野 483-2 ENEHOL ビル 1F
代表者	藤木 慎太郎 様
業種	太陽光発電システム的设计・施工、卸売、 太陽光発電設備の運営
資本金	6,000万円
従業員数	10名（2023年9月時点）
設立	2012年1月

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

